

楽しさ全開☆



旭実フェスティバル!!



今年度の『旭実フェスティバル』が、7月3日（木）から5日（土）までの3日間にわたり開催されました。

初日は第一体育館で開会式が行われ、続いて吹奏楽部による演奏、ダンスサークルの華やかなパフォーマンス、そして3年生による歌やダンスなど、多彩なステージ発表が披露されました。観客席からは大きな拍手と歓声が送られ、会場は終始熱気に包まれていました。

二日目には、人工芝サッカーグラウンドと野球グラウンドを舞台に体育祭が実施されました。各学年対抗で、二人三脚や借り人競争、宅配便リレーなどのトラック競技に加え、綱引きや大縄跳びなどの



旭実だより

北海道立正学園校
旭川実業高等学校
広報部

TEL(0166)51-1246
旭川実業高校HP



野球部

仲間とともに、全力の夏、白樺との熱戦 惜しくも敗退

6月24日（火）から29日（日）にかけて、「第107回全国高等学校野球選手権大会 旭川支部予選」が開催され、本校野球部は見事Aブロックの決勝戦まで進出しました。決勝では旭川東高校と対戦し、10対0という圧巻の勝利を収め、堂々のAブロック優勝を果たしました。この結果により、7月12日（土）から開幕した北海道大会への出場が決定しました。



北海道大会の初戦では、昨年の優勝校・白樺学園高校との対戦となり、本校は全校生徒による応援団でスタンドを埋め尽くしました。

試合は序盤、両チーム無得点のまま緊迫した展開が続きましたが、6回に1点、8回に2点を奪われ、本校も1点を返すものの、9回にさらに追加点を許し、1対4に。最終回には全校応援の声に後押しされ、1点を返して意地を見せましたが、あと一歩届かず、2対4で惜しくも敗れました。

結果は届かなかったものの、最後まで全力を尽くす選手たちの姿に、応援席からは大きな拍手が送られました。

のフィールド競技が行われ、生徒たちは汗を流しながら懸命に取り組んでいました。どの種目も白熱した展開を見せ、結果は3年生が総合優勝を勝ち取り、大きな拍手で称えられました。

最終日は文化祭が開催され、各クラスが趣向を凝らした出し物で来場者を楽しませました。お化け屋敷やカラオケ、ビンゴゲーム大会といった企画は大盛況で、校内は活気に満ちていました。さらに、第二校舎駐輪場で開かれた縁日で、かき氷やチョコロス、焼きそば



進路と絆を深めた2日間
商業科 宿泊研修を実施
6月19日（木）から20日（金）

などの屋台が軒を連ね、多くの生徒や来場者でにぎわいを見せました。生徒たちは自分のクラスの出し物だけでなく、他のクラスの企画にも積極的に参加し、友人や先輩・先輩たちと交流を深める姿が印象的でした。3日間を通じて、協力し合い、全力で楽しむ旭実生の姿が輝いていたフェスティバルとなりました。

にかけて、商業科1年生の宿泊研修を実施しました。

初日は、札幌にある吉田学園の「北海道リハビリテーション大学校」「公務員法科専門学校」「北海道福祉・保育大学校」を訪れ、それぞれの分野について学びを深めることができました。実際の施設を見学しながら、将来の進路について具体的に考える貴重な機会となりました。その日の宿泊先はネイパル深川で、夕食後にはレクリエーションも行われ、生徒たちは笑顔で交流を楽しみながら、仲間との絆を深めていました。

2日間を通して、生徒たちは将来の進路への関心を高めるとともに、仲間とのつながりや集団行動の大切さを実感できる研修となりました。

6月に道内各地で行われた高体連全道大会において、バドミントン部の鈴木穂乃花さん（普3・忠和）が女子シングルスで準優勝、男子ソフトテニス部の細川瞬汰さん（普3・広陵中）・沖中瑛太さん（普2・広陵中）組が5位入賞し、全国大会への出場を決めました。全国大会は、バドミントンが8月4日（月）より山口県の防府市スポーツセンター体育館などで、ソフトテニスは7月24日（木）より同じく山口県の宇部市中央公園テニスコートで開催されます。



鈴木穂乃花さん「高校生の集大成として今まで教えてもらったことを少しでも多く出せるように頑張ります。笑顔で楽しく、親やチームメイトの分まで精一杯プレーして来ますので、応援よろしくお願ひします。」

細川瞬汰さん「二つでも多く勝てるように精一杯プレーしてきます。応援よろしくお願ひします。」

